



今期広報委員会は、新型コロナウイルスの感染拡大によって急進した「おうち時間」の充実を求める機運に注目し、全曹青公式SNS（FacebookとInstagram）やYouTubeチャンネルを活用した連載企画「禅僧といっぷく」を展開しております。

本企画は、「禅」の世界観と、茶道で親しまれる「和菓子」を組み合わせた企画で、季節を表現した美しい和菓子の意匠やその銘とともに、禅語の紹介や法話をお届けしております。昨年十月の始動より現在まで、五回のSNS投稿と一本のYouTube動画を公開いたしました。

公式SNSでは、日常の隙間時間に



茶室での撮影 公式SNSに投稿

利用する方が多いという特徴を考慮し、写真を中心に一瞬で強く印象に残る記事作成を心掛けております。

また月一回程度の投稿頻度とし、可能な限り投稿時期に近い季節の和菓子と法話を発信しております。日々体感している季節の移ろいと投稿内容を重ねることで、より身近に禅の世界観をお届けしたいという意図です。

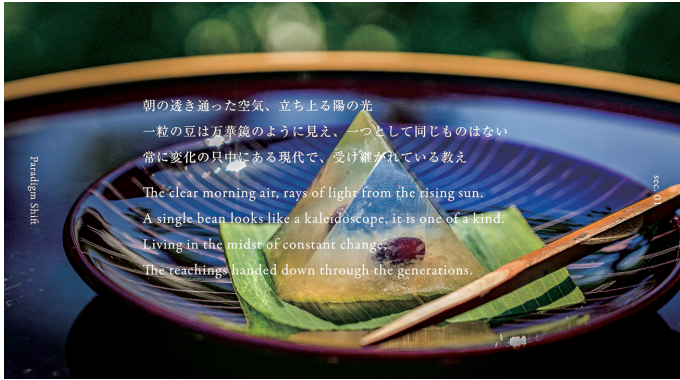
一方で、YouTube動画では写真で伝えることができない音や動きに注目し、茶筌ちやせんを振る作法等のお茶事の様子や、揺れる木々等の自然の姿を組み合わせた動画といたしました。さらにこちらは国際委員会と協働し英語訳も添え、国内外を通して多くの皆さまに親

## 広報委員会連載企画 「禅僧といっぷく」シリーズのご紹介

広報委員長 菅 すが 悠生 ゆうせい

しみやすい動画となっています。

「茶禪一如」という言葉もあるように、禪と茶道の世界は深い関わりを持っていきます。臨済宗の榮西禪師が日本にお茶の種を伝えたことをきっかけ



朝の透き通った空気、立ち上る陽の光  
一粒の豆は万華鏡のように見え、一つとして同じものはない  
常に変化の只中にある現代で、受け継がれている教え

The clear morning air, rays of light from the rising sun.  
A single bean looks like a kaleidoscope, it is one of a kind.  
Living in the midst of constant change,  
The teachings handed down through the generations.

Paradigm Shift

YouTube動画より 菓銘「Paradigm Shift」

とし、今日でも大本山總持寺をはじめ、多くの僧堂で茶道を安居生活に取り入れておられます。また「喫茶去<sup>きつたそこ</sup>」や「且座喫茶<sup>しやざきつた</sup>」等の禅語に代表されるように、たくさんのお茶を着想に教えを説いておられます。

本連載の舞台となるSNSや

YouTubeの利用者層は幅広く、日頃から禅や茶道に興味を持ってもらえる方ばかりではありません。しかし禅と

茶道の持つ、こうした深い親和性を基盤とし、それぞれの持つ素晴らしさを組み合わせたい入り口を開くことで、多くの方に親しみやすいコンテンツを発信すること

ができるのではないかと考えております。

今期広報委員会

では、どなたにも禅の世界観を身近に感じていただく



● 執筆者プロフィール

広報委員長 菅 悠生

広島県曹洞宗青年会所属  
第二十三期 広報副委員長



「禅僧といっぶく」  
特設ページ

全曹青各公式SNSや公式YouTubeチャンネルより、是非ご覧ください。

ことができると同時に、引き続き本企画を継続してまいります。布教教化のきっかけとして活用することはもちろん、慌ただしい日々の中で憩いのひと時としていただければ幸いです。